

関係人口シンポジウム

日本一おかしな公務員と

「関係人口」を考える

人が少ないと思うか、チャンスが多いと捉えるか。

資源が無いと嘆くか、知恵を出し合ってつくることを楽しむか。不便で課題が多くても、人が集まっている地域には、その地域を楽しむ『おもしろがる人』の存在がありました。本イベントは、地域を『おもしろがる人』に焦点をあて、『地域の中と外をつなぎ育む取り組みやその効果(関係人口創出)』について考えるシンポジウムです。

" なにか活動をはじめたい"、" 活動を進めるヒントを得たい" と考える地域のみなさん、ぜひお越しください!

2020

2 / 8 sat

13:30~16:15

とりぎん文化会館 第1会議室

鳥取市尚徳町 101-5

主催：鳥取県

企画運営：NPO 法人学生人材バンク

TEL：0857-37-3373

Mail：info@jinzaibank.net

プログラム

13:40

基調講演

ナンパで学んだ、地域をおもしろがる力

—塩尻市を事例に—

山田 崇

1975年塩尻市生まれ。千葉大学工学部卒業。塩尻市役所企画政策部 地方創生推進課地方創生推進係長。空き家プロジェクト nanoda 代表。「地域の課題を想像でとらえるのではなく、実際に現場に身を置いてみないと商店街の現状・課題はわからない」と空き家を活用したプロジェクト「nanoda(なのだ)」を2012年4月より開始。2014年「地域に飛び出す公務員アワード2013」大賞を受賞。TEDx Sakuでのトーク「元ナンパ師の市職員が挑戦する、すごく真面目でナンパな『地域活性化』の取組み」が話題に。2016年1月からは「MICHIKARA~地方創生協働リーダーシッププログラム」を、首都圏のプロ人材との協働による官民連携プロジェクトをスタート。地方の課題解決を民間企業のプロフェッショナル人材との協働実施するプログラムの全国展開を目指す。グッドデザイン賞2016受賞。2016年5月から内閣府 地域活性化伝道師に。日本一おかしな公務員(日本経済新聞出版社)著者。



14:50

トークディスカッション

山田 崇
齋藤 浩文
出口 真理
松浦 生
【司会】中川 玄洋

塩尻市役所 企画政策部 地方創生推進課地方創生推進係長
(株)鳥取銀行ふるさと振興本部副調査役 一般社団法人まるにわ代表理事
日南町役場 企画課 自治振興室
もちがせ週末住人大山町地域おこし研究員
NPO 法人学生人材バンク



参加申し込みは
こちらから!

QRコードあるいは、電話・メールより2月7日までにお申込みください。